

なす風土記だよりはじめました

令和元年度から、なす風土記の丘湯津上資料館・歴史民俗資料館での活動を皆さまにより知っていただくために、機関紙「大田原市なす風土記だより」を刊行することとなりました。なす風土記の丘湯津上資料館・歴史民俗資料館での1年間の活動や、所蔵している貴重な資料、発掘調査の最新情報などをご紹介します。



▲こも巻きようす (令和元年10月24日)



▲こも外し集合写真 (令和2年3月5日)

この写真は、令和元年度の下侍塚古墳のこも巻き・こも外しのようすです。侍塚古墳松守会の皆さんが10月の「霜降^{そうこう}」の日にこもを巻き、3月の「啓蟄^{けいちつ}」の日にこもを外し、松くい虫から松を守っています。古墳に植えられたアカマツは、徳川光圀による日本初の発掘調査の後、古墳を守るために植えられたものです。確認できるものでは樹齢が114年を数える松もあり、江戸時代からおよそ3代目にあたると考えられます。平成30年度から、台風等の被害による倒木がみられましたが、現在は下侍塚古墳で97本、上侍塚古墳で98本のアカマツが確認されています。

(鈴木志野)

今年はこんなことがありました

なす風土記の丘資料館では…

資料館から歩いて遺跡を巡る、古墳群ツアー・市内遺跡ツアーを実施しました。市内遺跡ツアーは今年度からコースを変え、古代の遺跡だけでなく、地形や地質・湧き水なども観察し、湯津上地内を巡りました。

また、12月からは大田原市で初となる学術発掘を実施しました。日本で初めて発掘調査が行われた「日本考古学発祥の地」で、江戸時代からおよそ327年ぶりのことです。官道であった東山道駅路の駅家(馬の中継休憩地点)と推定されている小松原遺跡を中心に、地形や聞き取り調査から場所を推測し、道路跡を探す発掘調査を行いました。

残念ながら駅路は発見できませんでしたが、今まで那須地域ではなかなか見つかっていなかった古墳時代の竪穴住居跡が確認されました。

(詳しくは6ページへ)

(鈴木志野)

歴史民俗資料館では…

令和元年度、初めての試みとして「両館長放談」を実施しました。木村館長と上野館長が、民俗学と考古学双方の視点からお話しするという全2回の企画です。6月8日は「考古学と民俗学」、12月8日は「縄文時代の精神世界」をテーマに、熱く語り合っていました。その興味深い内容と両館長の気さくな人柄に、参加者もリラックスした様子で、質問や意見など、積極的に発言していました。

また、毎年恒例のサツマイモづくりが、令和元年度も歴史民俗資料館の小さな畑で行われました。4月13日に畑づくり、5月12日に苗の植え付け。そして10月22日には収穫祭を実施しました。収穫祭の日はいくの雨でしたが、小さな畑からはたくさんのサツマイモが収穫できました。サツマイモはふかして、さっそく美味しくいただきました。

(宮澤友美)

展示 民俗資料紹介

歴史民俗資料館展示室の一角に、存在感のある資料があります。車櫃^{くるまびつ}と呼ばれ、長持ちという家具の一種です。長持ちはもともと車はついておらず、竿^{さお}を通して2人で担いだ運搬用の家具でした。近世に入って箱の下に車輪をつけて、簡単に移動できるよう考案されましたが、持ち運びにはかえって不便だったようです。嫁入りの際の大切な道具の一つでした。

この車櫃は、市内に墓所がある真里谷清雲ゆかりのものです。清雲は上総真里谷城（現在の千葉県木更津市）の城主でしたが、北条氏に追われ、長南城（現在の千葉県長南町）主武田兵部大輔信栄の下に暮らしていました。しかし、天正18



車櫃（歴史民俗資料館所蔵）

（1590）年8月、長南城も落城したため、清雲は諸国を遍歴します。越後国村松（現在の新潟県五泉市）の城下で剣術を教えていた時、堺忠次^{すけはる}が門人となりました。忠次は那須資晴家臣の荻野目玄蕃^{げんぼ}の子で、資晴に才能を見出だされ大坂に遊学し、さらに越後に行きました。忠次の武芸と人柄の評判は世に知れ渡り、新発田溝口伯耆守に仕えました。その後、母親が佐良土に移り住んだということを聞き、那須に帰郷します。

清雲も諸国を遍歴する中で弟子・忠次の消息を知り、佐良土に居を構えました。やがて、子のない清雲は忠次を養子に迎えました。その頃、福原城主那須資景^{すけかげ}が「おこり」を患っていました。清雲は祈祷で治療し、その功により湯津上村に500石の土地を賜ります。そして剣術を教えますが、門人の数はたいへん多かったといえます。寛永4（1627）年7月18日、清雲は74歳で亡くなります。清雲5代の子孫・久弥が墓碑を建立し、湯津上入山の台地に存在しています。

忠次も真里谷八郎衛門信広と名を変え、剣術の評判も良く、子孫にも恵まれました。三男である大武源右衛門景弥は、黒羽大関家へ仕え剣術の指南をしました。（宮澤友美）

お知らせ

史跡解説ボランティアを受付けます！

令和2年度から、湯津上地区を中心に活動する史跡等解説ボランティアの受入れを予定しています。資料館や周辺の遺跡の魅力伝えるために、学習しながら地域の魅力をアピールする活動などが主になります。

ボランティア活動を希望する方、地域の歴史文化に興味関心のある方を対象にした講座『なす地域学講座』を実施予定です。

グッズ作りや地域マップ作りなど、興味をかたちにするプログラムを用意しています。随時受け付けをいたしますので、お申し込み・お問い合わせは、なす風土記の丘湯津上資料館までご連絡ください。

プログラム		
第1回	5/10(日)	ガイドス 地域散歩マップをつくらう①
第2回	6/21(日)	那須の縄文時代
第3回	7/11(土)	那須の古代
第4回	8/23(日)	那須の中世
第5回	9/20(日)	那須の人物誌
第6回	10/18(日)	地域研究の方法①
第7回	11/14(土)	地域研究の方法②
第8回	12/20(日)	資料整理作業の方法
第9回	1/31(日)	民俗学の研究方法
第10回	2/28(日)	地域散歩マップをつくらう②

大田原市なす風土記の丘湯津上資料館

国指定史跡 侍塚古墳、国宝 那須国造碑を中心に、日本で初めて行われた発掘調査に関わる資料と、大田原市内で発見された資料を展示している考古資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上192

TEL 0287(98)3322 FAX 0287(98)3323

E-mail fudokiyuzukami@city.ohatawara.tochigi.jp

URL http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/docs/2013082772084/



大田原市歴史民俗資料館

昭和30年代、湯津上地区で実際に使用されていた農具や民具を中心とした、大田原市内の民俗芸能を扱う民俗資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上194

TEL 0287(98)2151

URL http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/docs/2013082772237/

